

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	南九州市茶業振興会
役職	
氏名	窪 拓摩
着任日	令和3年2月1日

活動月	令和6年2月(着任3年1ヶ月)
主な活動	1. 茶最盛期に向けた人材派遣の説明会を実施！ 2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談 3. 地域を超えた情報交流への注力、その他

1. 茶最盛期に向けた人材派遣の説明会を実施！



写真:説明会会場には、50名を超える参加者が集まった((株)タイミー様)

先月に続き、当月は一日数時間から一週間程度の雇用を対象とする人材派遣会社(株)タイミー様の説明会を開催しました。会の案内をする段階から非常に大きな反響をいただいております、今回は当市の基幹産業である茶に特化してご案内をかけましたが、当日は50名を超える茶工場代表者や近隣の市から職員が駆けつけたりと、想像を超える需要の高さが伺えました。

年間雇用はコスト面などで難しいが、新茶時期などの急に人手を必要とする時に、タイミーの制度を活用することで、生産力のサポートになるのではないかと予想通り、採用を前向きに検討されている参加者が多く、タイミー様との数年にわたる取組が、確実に数字として出てきているのではないかと感じております。

ここからは、継続してこの事業を実施するための体制づくりが必要不可欠と考えます。

2. 外部企業との連携、ブランディングづくりの商談



写真:新茶シーズン前の内覧会の様子((株)吉村様オフィス)

茶の包装資材や茶器などを扱う、(株)吉村様の半年に一度の内覧会に参加をいたしました。新茶シーズンも近くなってきたということで、茶業関係者達が内覧会に参加をしており、日頃生産以外での小売にまつわる情報交換があまりないので、市況や新商品のご紹介など刺激をうけた一日でした。

特に、鹿児島というエリアは、まだまだ他茶産地と比較した際小売が弱く、また大きな市場を持つ都市圏から物理的距離のハンデを持つ産地なだけに、ブランディングも一層力を入れなければならないと感じております。

内覧会の中でお話をされておりましたが、茶のメイン消費層である年齢の高い方々だけに向けて小売をするだけではなく、根付くまでに長い労力をかけてでも若い方々に茶を消費してもらう施策が大切だと強く感じます。

大変ありがたいことに、次回の秋の展示会では(株)吉村様の本社(東京)へご招待をいただくこととなりまして、知覧茶の産地の代表として多くの情報を吸収してアウトプットできたらと思います。

3. 地域を超えた情報交流への注力、その他



写真: TEA LABO TRAVELにてはるとなりの茶畑見学の様子

ワカモノの茶消費拡大事業として、今年三年目となっているTEA LABO(ティーラボ)の茶産地ツアーを開催しました。一年目はオンライン交流や冊子作り、二年目はウェブでの生産者にフォーカスした情報発信、そして今回の三年目での知覧茶の産地を巡るツアーとなっております。鹿児島県内には茶産地がたくさんありながらも、意外に身近ながら茶について知らないことが多いとの意見をいただき、茶畑での作業内容や茶についての説明、茶工場見学、そして美味しいお茶の淹れ方など、日帰りツアーと一泊二日のツアーを複数回実施しております。

※TEA LABO CHANNELはこちらから https://note.com/tealabo_pj/



写真: 新茶祈願祭用の奉納茶づくりの様子(トンネル被覆)

また、年間を通し注力しているSNS発信業務では、新茶シーズンが近くなってきたので茶産地が今どのような状態であるのかをできるだけリアルタイムで情報発信しております。当月は、新茶シーズン前に行う祈願祭で奉納する茶用のトンネル被覆作業を発信したり、茶産地の風景がどのように変化しているのかなどを全国、国内外のフォロワーに紹介しております。

以上簡単ではございますが、当月の報告といたします。